

事前評価書

1 事業名 大規模河川管理施設機能確保事業	地区名・路線名等 二級河川日光川水系 日光川（日光川水閘門）
2 事業概要 (1) 位置 愛知県海部郡飛島村地先 (2) 規模・内容 水閘門本土工 N = 1 箇所、護岸工 L = 650m等 (3) 事業期間 平成19年度 ~ 平成29年度 (4) 事業費 21,600 百万円	
3 必要性 現在の日光川水閘門は、①底面部が、計画している掘削後の河床より高いため、大雨の際、川の流れを阻害する。②地盤沈下の影響で、本体が約50cm沈下しており、大雨の際、川の流れを阻害している。③東海地震などの大規模地震に対する耐震性が不足している。④建設後、40年以上が経過し、本体にクラックが発生するなど老朽化が進行している。以上から、必要な流下能力を確保し洪水被害の軽減を図るとともに、合わせて、地震発生時等における機能不全要因を解消し高潮被害の軽減を図る。	
4 事業効果 (費用対効果分析のある場合) (1) 評価期間 平成19年度 ~ 平成99年度 (2) 基準年度 平成19年度 (3) 基準年における総費用 (C) 38,080 百万円 (4) 基準年における総便益 (B) 97,610 百万円 (5) 便益の内訳 事業実施による被害軽減期待額 (6) 費用対効果 (B/C) 2.56 (7) その他 なし	
5 事業をめぐる社会情勢 流域の約40%がゼロメートル地帯であり、また、名古屋市近郊であることから都市化が急速に進展しており、ひとたび洪水による浸水被害が発生すれば甚大な浸水被害を受ける恐れがある。また、当該地域は、東海地震の地震防災対策強化地域、東南海・南海地震の防災対策推進地域に指定されており、地震発生時において水閘門の機能不全による高潮被害を受ける恐れがあり、水閘門の改築が急務となっている。	
6 その他特記事項 改築にあたっては、学識経験者等で構成する検討委員会を設置し、具備すべき性能やコンセプト、設計・施工上の課題、新技術の採用及び環境負荷の最小化等について検討を行い、長寿命化を前提としたアセットマネジメント手法を計画段階から採用し、長期的観点からのコスト削減を図る。	